

薬生食輸発1110第1号  
令和3年11月10日

各検疫所長 殿

医薬・生活衛生局食品監視安全課  
輸入食品安全対策室長  
(公印省略)

食品衛生法第26条第3項に基づく検査命令の実施について  
(インドネシア産コーヒー豆のイソプロカルブ、台湾産ウーロン茶のカルバリル  
及び中国産そばのアフラトキシン)

標記については、令和3年3月30日付け薬生食輸発0330第1号(最終改正:令和3年10月29日付け薬生食輸発1029第1号)により通知したところである。

今般、輸入時のモニタリング検査において、インドネシア産コーヒー豆からイソプロカルブ、台湾産ウーロン茶からカルバリル及び中国産そばからアフラトキシンを検出したことから、同通知の別添1を下記のとおり改正するので、御了知の上、関係事業者等への周知方よろしく願います。

なお、インドネシア産コーヒー豆のイソプロカルブ及び台湾産ウーロン茶のカルバリルについては、登録検査機関による検査命令の受託体制が整うまでの間は、自主検査にて対応することとし、検査命令の発出を開始する日については、別途連絡することとする。

## 記

### 1. 別添1のインドネシアの項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
コーヒー豆及びその加工品(簡易な加工に限る。)		イソプロカルブ	別表1の3によること。 ただし、コンテナによるバルク形態で輸入される食品については、ロットを代表する任意の1コンテナ内の上部、中部、下部の計15か所から計10kg以上を採取したものを縮分して1kg、1検体とすること。	平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。	基準値(0.01ppm)を超えるイソプロカルブが検出されるおそれがあるため。

を追加し、

2. 別添1の台湾の項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
ウーロン茶及びその加工品（簡易な加工に限る。）		カルバリル	別表1の3によること。	平成17年1月24日付け食安発第0124001号「食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法について」によること。	基準値（0.01ppm）を超えるカルバリルが検出されるおそれがあるため。

を追加し、

3. 別添1の中国の項中、

製品検査の対象食品等	条件	検査の項目	試験品採取の方法	検査の方法	検査を受けることを命ずる具体的理由
そば(粉を含む。)		総アフラトキシン（アフラトキシンB <sub>1</sub> 、B <sub>2</sub> 、G <sub>1</sub> 及びG <sub>2</sub> の総和）	別表2によること。 ただし、コンテナによるバルク形態で輸入される食品については、ロットを代表する任意の1コンテナ内の上部、中部、下部の計15か所から計10kg以上を採取したものを縮分して1kg、1検体とすること。	平成23年8月16日付け食安発0816第2号「総アフラトキシンの試験法について」によること。	総アフラトキシンが10 µg/kgを超えて付着又は含有しているおそれがあるため。

を追加する。